



2020年8月6日

リモート設備耐震診断サービスの提供開始 ～with/after コロナにおける BCM・災害対策の推進～

SOMPOリスクマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：桜井 淳一、以下「SOMPOリスク」）は、8月から、with/after コロナにおける製造業等の BCM・災害対策の推進を目的にリモート設備耐震診断サービス（以下「本サービス」）の提供を開始します。

1. 背景と目的

東日本大震災以降、BCP（事業継続計画）の必要性が再認識され多くの企業において策定が進められてきました。BCP の実効性確保の鍵は物的被害を最小限に抑えることであり、耐震改修促進法の改正（平成 25 年、平成 31 年）等を受けて建物の耐震化は順次進められているところです。

一方、生産設備や建物付帯設備については、種類が多く各分野を横断的に診断できる専門家が限られていることから、特に時間やリソースの限られている中堅・中小の製造業においては耐震対策が進んでいないのが現状です。

さらに、近年は気候変動の影響により水害も頻発化、激甚化しており、地震対策に加えて水害対策についても待ったなしの状況です。

このような背景を踏まえ、with/after コロナの状況下であっても災害対策を強力にサポートしていくため、設備耐震診断をリモート化し、感染拡大防止にも配慮しながら耐震診断をメインに、ご要望に応じて水害対策もご支援いたします。

リモート化に伴い、従来から大手製造業を中心に BCP の実効性確保に向けた対策支援として実施してきた設備耐震診断サービス^{※1}を事前に対象設備を選定し、お客さまから写真やデータを提供いただくことで現地訪問にかかるコストが省略できるため、より安価に診断が可能となります。

また、これまで日本国内が中心であったサービス提供対象地域を海外にも拡大します。これにより、インドネシア、フィリピン等、地震リスクの高い海外製造拠点での地震対策についてもご支援が可能となります。

※1 SOMPOリスクのコンサルタントと設備の専門家が現地に行って行う診断業務。
診断費用は現地調査および診断レポート作成で100万円程度から。

2. 本サービスの概要（※別紙 1 参照）

(1) サービス提供の流れ

- SOMPOリスクのコンサルタントとの打合せ（Web会議等）により対象設備を選定します。

- お客さまに対象設備の写真撮影やデータ（概略の寸法等）の提供等をお願いいたします。
※配管等の状況等を撮影するための360度カメラの貸し出しや、SOMPOリスクのコンサルタントが現地にお伺いして撮影作業を代行することも可能です（オプション）
- ご提供いただいたデータ等をもとに、SOMPOリスクにて耐震対策適否の診断および具体的な対策方法や概算工事費用等を解説したレポートを作成します。（データ提供より1ヶ月程度）

(2)費用について

本年度に限り下記のキャンペーン価格でご提供いたします。

- 設備10点までを最小ロットとし25万円（税抜）
- 以降、10点毎に10万円（税抜）
- その他、オプション対応等については要相談

3. 受注目標

月間5件、年度内40件の受注を目指します。

4. 今後の展開

本サービスのオンラインシステム化等に向けた検討を進める予定です。

本サービスの進化を通じて、企業のBCPの実効性向上、延いては社会の安全・安全・健康の増進に寄与してまいります。

SOMPOリスクマネジメントについて

SOMPOリスクマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン株式会社を中核とするSOMPOホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「サイバーセキュリティ事業」を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、サイバー攻撃対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社
リスクマネジメント事業本部
BCMコンサルティング部 [担当：井上、加藤、犬飼]
TEL：03-3349-4225（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社
総合企画部 [担当：野本]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5102（直通）

以上

(別紙1)



SOMPOリスクマネジメント

安心・安全・健康のテーマパーク

リモート設備耐震診断

～Withコロナにおける災害対策を強力にサポートします！～

日本では、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振当部地震など、数年に一度は大規模な震災が発生しています。建物の耐震化（人命安全確保）については、耐震改修促進法（平成25年・平成31年改正）により進捗がみられるものの、BCPの実効性を決め得る設備の耐震化は進んでいないのが現状です。

また、近年は気候変動の影響により水害も頻発化、激甚化しており、Withコロナの状況下であっても災害対策は待ったなしの状況です。

『リモート設備耐震診断』は、お客様自身に対象設備の写真撮影等をしていただくことで、調査員の現地調査なしに設備の耐震性診断および改善策のアドバイスを行うサービスです。これにより、外部からウイルスが持ち込まれるリスクを最小限に抑えつつ、災害対策を推進することが可能となります。

リモート化により、これまで日本国内が中心であったサービス提供対象地域を海外にも拡大します。トルコ、メキシコ、インドネシア、フィリピン等、日系企業が多く進出する地震リスクの高い海外拠点においても本サービスをご活用いただけます。

Withコロナにおける災害対策のポイント

👉 自然災害の発生は待ってくれない

地震に加えて水害も増加傾向。いつ起きてもおかしくない。

👉 Beforeコロナよりハード対策の重要性は増している

ひとたび発生すると感染防止対策の影響等により復旧が進みにくい。

👉 感染防止に配慮した取り組みを

調査等による外部からの感染リスクを極力低減する。

ご利用の流れ

対象設備 選定・申込

対象設備の種類や数について弊社コンサルタントと打合せのうえ選定します。（Web会議、電話）
数量確定後、ご契約手続きを行います。

※ご契約は、所定の約款にてお願いいたします。
（成果完成型準委任契約）

写真撮影等

弊社コンサルタントの指示に従って対象設備の写真撮影（必要に応じ概算寸法計測等）をしていただきます。
撮影した写真データ等を弊社まで送信いただけます。

※ご希望に応じて弊社コンサルタント等がお伺いして行うことも可能（オプション）

診断

ご提供いただいた写真データ等をもとに、弊社にて現状の耐震対策適否について診断レポートを作成します。
改善が必要な設備については、対策方法や概算費用等もレポートにとりまとめます。

※所要期間：通常1ヶ月程度
※レポートのイメージは裏面参照

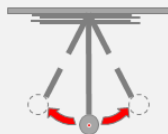
診断イメージ

診断の視点

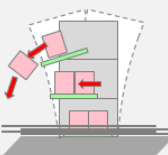
設備の固定状況



配管のサポート状況



収容物の落下防止状況

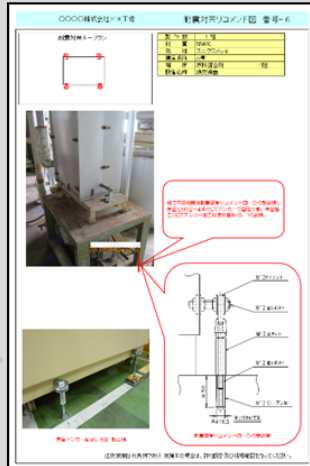


報告書内容

■現状に対する診断コメント



■改善策のアドバイス



改善が必要な場合

対策用品の種類、仕様、概算費用等

製造業での耐震診断実績

- ・自動車製造業
- ・自動車部品製造業
- ・電気機器製造業
- ・電子部品製造業
- ・半導体関連製造業
- ・精密機器製造業
- ・建設機械製造業
- ・金属素材製造業
- ・化学薬品製造業
- ・医薬品製造業
- ・食品製造業 など

80社142事業所（2020年3月現在）

価格表

■リモート設備耐震診断

設備点数	通常価格	キャンペーン価格※
10点まで	35万円（税抜）	➡ 25万円（税抜）
11点目以降10点まで	15万円（税抜）	➡ 10万円（税抜）

※2020年8月1日～2021年3月中契約分まで

■オプション（別途お見積）

- ・弊社コンサルタントによる現地調査を伴う設備耐震診断
- ・水害対策アドバイス
- ・設備耐震に関する社内基準作成支援
- ・BCP策定支援、訓練支援コンサルティング



SOMPOリスクマネジメント株式会社

BCMコンサルティング部 企業第2グループ
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル
TEL 03-3349-4225
http://www.sompo-rc.co.jp

2020年8月1日版